

# 平成23年度 社団法人新潟県臨床検査技師会 第1回通常総会議案書

期 日 平成23年 5月14日（土）  
会 場 新潟ユニゾンプラザ 大研修室

## 次 第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 来賓紹介
4. 表彰
4. 議長選出
5. 議長挨拶
6. 総会役員選出
  - 1) 資格審査委員選出
  - 2) 書記任命
  - 3) 議事録署名選出
8. 資格審査報告
9. 議案
  - 第1号議案 平成22年度事業報告について
  - 第2号議案 平成22年度収支決算報告について
  - 第3号議案 平成22年度監査報告について
  - 第4号議案 一般社団法人への移行決議案について
  - 第5号議案 第63回日本医学検査学会開催立候補決議案について
  - 第6号議案 支部提出議案について
  - 第7号議案 日臨技第2回定期総会提出議案について
  - 第8号議案 次期役員選出について
10. その他
11. 総会役員および書記解任
12. 議長挨拶
13. 閉会の辞

## 平成22年度事業報告

### 平成22年度事業報告について

はじめに、平成23年3月11日に発生した東日本大震災でお亡くなりになった会員はじめ1万名を越える人々のご冥福を祈りたい。また被災された皆様には改めてお見舞い申しあげたい。そして一日も早い復興を願わずにはられない。

過去2回の震災を経験した当技師会としては、3月19日の第2回総会で会館建設引当金を取り崩して、見舞金を拠出することを決議し、岩手、宮城、福島各県技師会へ全国に先駆けて送金した。

被災者への義援金は、支給されるまでに相当な時間がかかること、被災地の技師会は、会員や施設への物的支援、現地での情報収集等の支援活動に多くの資金が必要なこと、同じ東北地区で一緒に学会や研修会等を開催して親交の深い技師会の仲間を支えること、そして何より私たちの意思を速やかに、形として被災地の会員へ伝える必要があったことをご理解いただきたい。

被災地では漸く復旧が始まったが、復興までは長い道程が予想される。「がんばろう日本」、「がんばろう東北」を合言葉に、今後も当技師会として微力ながら出来るご支援を継続的に実施しなければいけない。今まで大国として支援する側だった日本が、戦後最大の災害を前に立ちすくんでいる。原発事故処理を含め大変多くの国々にご援助をいただき、これを契機に不死鳥のごとく復活することへの希望を持ちたい。

この様な状況ではあるが、昨年度当技師会は各支部や各検査研究部門と協力、連携をとりながら、学術部、広報部、総務部を中心に順調に活動してきた。

昨年5月に実施した第4回臨床検査セミナーでは、各研究部門のリーダーにより卒後教育を実施した。即戦力として期待されている方々の潜在的な能力を引き出すことで、技師会の将来を担う世代の育成を図り、検査技師の価値をさらに高めるといふ技師会業務の使命を改めて思い起こさせてくれた。今後も各支部や各研究部門の協力を得て継続する必要がある。

11月13日に新発田市で開催した第86回新潟県臨床検査学会は、新潟市以外では初めて350名を超える来場者を集め、極めて盛会に終了した。また、日臨技の精度保証施設認証制度については、初年度20施設が認証を受けた。福岡県の27施設には及ばないが、全国でも上位の認証数で、新潟県の標準化や精度保証の意識の高さが示された。

公益事業部門では、エイズ予防キャンペーンや「ピンクリボンホリデー2010」への参画の外、各支部でも活発に事業展開が図られた。しかし、効果の検証による見直しや事業の一元化の必要性もあり、今後の課題としたい。

広報部門ではホームページのリニューアルが実施され、なお一層会員への情報サービスが活性化されることを期待する。

また、災害時支援対策マニュアルが作成され、各会員へ提案した。この度の大震災には間に合わなかったが、支援ネットワークの拡大と共に改善を重ね、より実践的なものにして行きたい。さらには全国の技師会へも情報発信したい。

その他詳細については、各部門から報告するが、事業遂行を担当した各理事、各委員の献身的なご努力には改めて感謝する。しかし、まだ様々な懸案事項を抱えており、多様化する会員の要望、負託に十分応えられたか検証し、次年度への課題とする。

以上、事業概要として報告する。

## 【総務部】

### 1. 通常総会の開催

平成22年5月30日（日）朱鷺メッセ（201中会議室）において平成22年度第1回通常総会を開催し、平成21年度事業報告、同決算報告並びに監査報告を行った。これらについて、特に質疑はなく、拍手で承認された。

平成23年3月12日（日）、各支部持ち回りとなった予算総会を佐渡支部（佐渡島開発総合センター）で開催を予定していたが、突然の東日本大震災にて中止となり、平成23年3月19日の新潟支部総会の後に開催し、平成23年度事業計画案、同予算案を提案し、満場一致で承認された。

### 2. 会務の執行体制

#### 1) 職務分担

平成22年度は役員任期の後期にあたったが、前年度同様に学術部、広報部、総務部の3部門に理事を配置し、会務を執行した。

#### 2) 事務局体制

年々、事務局の業務量が多くなる中で、阿部事務員の努力により諸会議の準備や日臨技・東臨技および会員との連絡・調整役を担い、又、JAMTIS運用による会員情報登録および変更作業を迅速に処理され、新臨技会活動になくてはならない重要な役割を果たしている。

### 3. 諸会議の開催

- 1) 理事会 第1回平成22年4月10日（新潟県公社総合ビル3F会議室）  
第2回平成22年6月12日（新潟県公社総合ビル3F会議室）  
第3回平成22年9月11日（新潟県公社総合ビル3F会議室）  
第4回平成22年11月13日（新発田市生涯学習センター）  
第5回平成23年1月15日（新潟県公社総合ビル3F会議室）  
第6回平成23年3月19日（新潟大学医歯学総合病院12F大会議室）

#### 2) 常任理事会

定例常任理事会は従来どおり原則として毎月第2土曜日に開催し、平成22年度は5回開催した。

#### 3) 三役会議

急を要する案件については、メール等を利用し協議を行った為、特に三役会議は開催しなかった。

#### 4) 各種委員会の開催

##### (1) 会誌編集委員会

新臨技会誌（季刊発行）第275号から第278号の編集業務のため、4回開催した。

##### (2) HP委員会

会員への早急な情報伝達手段としてのHPを積極的に運用するべく委員会を開催し、内容やレイアウト等の検討を行い会員から親しまれるHPをめざした。

##### (3) 検査研究部門委員会

各検査研究分野の活動計画並びに運営等を協議するため1回開催した。

##### (4) 生涯教育研修委員会

生涯教育委員の業務も定着してきたことから、理事会や各支部生涯教育委員と連絡をとりながら研修会予定および参加者の登録を行った。

##### (5) 精度管理委員会

精度管理調査の事業計画、集計処理状況把握、検討会企画の協議のため7回開催した。

#### (6) 表彰委員会

各種表彰の対象者選考のため2回開催した。

#### 4. 組織対策

##### 1) 入会対策

前年度同様、各支部役員および各施設連絡責任者の協力により入会を勧めてきた。

本年度の新入会および再入会の会員は44名であった。会員数の減少傾向に歯止めがかかったが、今後も予断を許さない状況にある。なお、本会の正会員総数は1,221名（平成23年3月現在）である。

また、技師連盟入会者は12月現在45名であり、臨床検査を取り巻く環境が厳しくなっている中で、検査技師の社会的地位向上のためにも更に多くの会員の入会をお願いしたい。

##### 2) 各支部との連携強化

各支部ともその地域性を生かした独自の活動が浸透し、年々活発化している。支部総会等に役員を派遣し、連携強化を図った。

#### 5. 地域保健医療活動および公益事業

- 1) 一般公開としての第4回臨床検査セミナーを開催。（5月30日）
- 2) 新潟県臓器移植推進財団へ賛助会員として参画
- 3) 「ブルーサークル」を広めよう事業へ新潟支部が参画（8月28・29日）
- 4) 市民公開講座「今、話題の感染症について」を上越支部が開催（9月19日）
- 5) すこやかともしびまつりへ中越支部が共催団体として参画（10月9・10日）
- 6) 糖尿病を知る集いへ中越支部が共催団体として参画（10月2日）
- 7) 三条市市民公開講座へ中越支部が共催団体として参画（10月16日）
- 8) ピンクリボンホリデーへ新潟県臨床検査技師会として参画（10月9日）
- 9) 第11回新潟市健康福祉まつりへ新潟支部が参画（10月24日）
- 10) 第29回新潟糖尿病の集いへ新潟支部が参画（11月14日）
- 11) エイズ撲滅キャンペーンに各支部参画（12月4日）\*チラシ配布
- 12) 公開講演として健康管理に関するセミナーを開催（3月12日）中止

#### 6. 無料職業紹介事業

依然厳しい就職状況が続いているが、臨時の求人数が増加してきた。

求職登録者数0名 求人数14施設

#### 7. 災害見舞い

東日本大震災が発生し甚大なる被害を受けたことから、被災会員への早急な支援を行う為、被災県技師会（岩手・宮城・福島）に対しお見舞い金を送った。

#### 8. 表彰関係（敬称略）

- 1) 第28回篠川至賞（篠川至賞選考委員会を経て平成22年5月30日通常総会にて表彰）

特別功労賞 井上 彬（新潟支部）

学術奨励賞 片桐 智美（中越支部）

- 2) 平成22年度会長表彰（平成22年5月30日、新臨技通常総会にて表彰）

##### (1) 特別功労者表彰

藤 縄 勇 治（上越支部）

星 周一郎（中越支部）

##### (2) 永年会員功労者表彰

該当者39名

3) 第51回東北医学検査学会表彰 (平成22年10月9日～10月10日)

功労賞 矢 貫 恒 一 (新潟支部)

功労賞 山 口 勇 司 (中越支部)

4) 平成20年度生涯教育表彰 (平成22年5月30日, 新臨技通常総会にて表彰)

奨励賞 片 桐 智 美 (中越支部) 460点

平 原 学 (新潟支部) 450点

堀 川 良 則 (新潟支部) 430点

新人賞 長 澤 大 輔 (上越支部) 310点

【学術部】

1. 学会

第86回新潟県臨床検査学会

日 時：平成22年11月13日 (土) 9:30～16:00

会 場：新発田市生涯学習センター

参 加 者：会員252名 非会員65名

受付開始：9:30～

時間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	機器展示会場
	大講堂 300名	多目的ホール 100名	第1研修室 48名	第2研修室 42名	創作実習室 80名	駐車場内 展示車
10:00～12:00 一般演題	一般演題1～4 10:00～11:00 症例検討 11:00～12:00	一般演題 5～13	/	/	一般演題14～19 10:30～	機 器 展 示
12:00～13:00 ランチョンセミナー	/	A 生理	B 微生物	C・D 免疫	E 生理	
13:00～14:30 レクチャー	I 生理 (13:30～)	III POC	V 微生物	VII 生化学	IX 血液	
14:30～16:00 レクチャー	II 生理 (14:50～)	IV POC	VI 微生物	VIII 生化学	X 総合管理	

日臨技認定指定講習会 (心電図セミナー'10) 認定心電検査技師指定研修会単位認定

－プログラム－

10:00～11:00 一般演題

11:00～12:00 症例検討

12:00～13:00 ランチョンセミナー

A 『ホルター心電図 今と昔』

講師：フクダ電子株式会社 心電営業課 係長 打田 博則 先生

E 『心電図検査 これだけは知っておきたいME』

講師：日本光電工業株式会社 総務人事部 研修センター 教育研修チーム

関 恒雄 先生

13：30～14：40 講演『虚血性心電図変化の成り立ちとピットフォール』

講師：新潟大学医学部第一内科助教 古嶋 博司 先生

14：50～16：00 講演『Tachycardia の分類と鑑別方法』

講師：新潟大学医学部保健学科准教授 池主 雅臣 先生

第34回 POC セミナー POC コーディネータ申請3単位【測定技術論2単位・運用技術論1単位】認定  
—プログラム—

13：00～14：30 講演『小型臨床化学システム BBx の有用性』

講師：ニッターボーメディカル株式会社 新井 敏史 先生

14：30～16：00 講演『HBV, HCV, HIV, TP 迅速診断キットと院内感染対策について』

講師：富士レビオ株式会社 学術サービス部 江川 孝則 先生

レクチャー

会場	番号	時間	演題	講師	
第1	I	13：30～14：40	虚血性心電図変化の成り立ちとピットフォール	古嶋 博司	新潟大学医学部第一内科助教
	II	14：50～16：00	Tachycardia の分類と鑑別法	池主 雅臣	新潟大学医学部保健学科准教授
第2	III	13：00～14：30	小型臨床化学システム BBx の有用性	新井 敏史	ニッターボーメディカル株式会社
	IV	14：30～16：00	HBV, HCV, HIV, TP 迅速診断キットと院内感染対策について	江川 孝則	富士レビオ株式会社 学術サービス部
第3	V	13：00～14：30	今シーズンにむけたインフルエンザの予防と治療	齋藤 玲子	新潟大学大学院医歯学総合研究 科国際感染医学講座公衆衛生学 分野講師
	VI	14：30～16：00	“臨床の現場”に参加する検査技師ができること	太田 求磨	新潟県立中央病院内科
第4	VII	13：00～14：30	LDL-C について最近の話題	阿部 聡子	積水メディカル株式会社 カスタマーサポートセンター 学術東日本グループ
	VIII	14：30～16：00	採血管使用における注意点 ～採血から検体測定までの基礎的な 注意点～	須長 宏行	積水メディカル株式会社 カスタマーサポートセンター 学術東日本グループ
第5	IX	13：00～14：30	凝固・線溶検査と疾患について	福士 顕	三菱化学メディエンス株式会社 診断検査事業本部学術部
	X	14：30～16：00	効率性を考えた機器選定 ～SphereLight Wako の特性と その実例～	中嶋 久衣 山崎 恒	和光純薬工業株式会社 カスタマーサポート部 医療法人崇徳会長岡西病院 臨床検査室技師長

ランチョンセミナー

会場	番号	時間	演題	講師	
第2	A	12:00~13:00	ホルター心電図検査 今と昔	打田 博則	フクダ電子株式会社 心電営業課係長
第3	B	12:00~13:00	感染症の最近の話題	飯沼 一茂	アボットジャパン株式会社 営業学術部上級顧問
第4	C	12:00~12:30	全自動免疫測定装置 HISCL - 2000i	宮本 和典	シスメックス株式会社 北関東支店試薬販売課 係長
	D	12:30~13:00	全自動化学発光免疫測定装置 ケンタウルスのご紹介	高橋 一彰	シーメンスヘルスケア・ダイア グノスティクス株式会社 関東・信越リージョン
第5	E	12:00~13:00	心電図検査 これだけは知っておきたいME	関 恒雄	日本光電工業株式会社 総務人事部研修センター 教育研修チーム

一般演題一覧

会場	演題	時間	演題名	発表者	施設名
第1	1	10:00	DMAT（災害派遣医療チーム）について	中川 友也	厚生連村上総合病院
	2	10:10	魚沼地区の低血糖救急の実態調査	中澤 光夫	県立小出病院
	3	10:20	肝静脈を介し右心房内への進展を伴った肝細胞癌の一例	阿原 静枝	信楽園病院
	4	10:30	心膜嚢胞が疑われた1例	鈴木由喜子	県立新発田病院
第2	5	10:00	小児の発作性寒冷血色素尿症を呈した2例について	塚田 彩実	新潟市民病院
	6	10:10	自動機器を用いた製剤の血液型確認について	清水 留美	県立新発田病院
	7	10:20	異型造血幹細胞移植後の赤血球型変化を観察した一例	古谷江梨子	新潟大学医歯学総合病院生命科学医療センター
	8	10:30	小型自動輸血検査装置「ECHO」の使用経験	青木 寿成	新潟大学医歯学総合病院生命科学医療センター
	9	10:40	多発性骨髄腫患者における ABO 血液型うら検査について	湯本 千夏	新潟県立がんセンター新潟病院
	10	10:50	肺クリプトコッカス症の一例	千味 和宏	済生会新潟第二病院
	11	11:00	<i>Nocardia yamanashiensis</i> による敗血症の一症例	田村 優子	長岡赤十字病院
	12	11:10	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群 6 によるレジオネラ肺炎 2 症例	高野 美菜	長岡赤十字病院
	13	11:20	救命外来におけるグラム染色の有用性 -細菌検査室の関わり-	大宮 清人	新潟市民病院

第5	14	10:30	術中迅速凍結組織標本作製における Cryofilm の活用	小池 敦	新潟県立がんセンター新潟病院
	15	10:40	乳腺 giant cell tumor の1例	栗原アツ子	県立新発田病院
	16	10:50	SMBG 機器と POC 機器との比較検討について	田中加奈子	社団法人新潟県労働衛生医学協会
	17	11:00	VITOROS5600の導入効果	坂西 清	厚生連魚沼病院
	18	11:10	出現実績ゾーン法の導入効果について	丸山佐和子	新潟県立がんセンター新潟病院
	19	11:20	検査システムの更新にともなう TAT 管理の機能性への一考	山崎 恒	医療法人崇徳会長岡西病院

#### 座長一覧

会場	受持演題	受持時間	氏 名	所属施設
第1	1～2	10:00～10:20	山崎 恒	医療法人崇徳会長岡西病院
	3～4	10:20～10:40	桑原喜久男	済生会三条病院
第2	5～9	10:00～10:50	松山 雄一	新潟県赤十字血液センター
	10～13	10:50～11:30	高橋 真帆	下越病院
第5	14～15	10:30～10:50	大谷内健二	新潟大学大学院医歯学総合研究科
	16～19	10:50～11:40	草間 孝行	県立十日町病院

## 2. 検査研究部門

平成22年度は委員の2年目に当たり、部門長と分野長は継続したため変更はなかった。組織は6部門、13分野で構成され運営がなされた。検査研究部門が主催した新臨技研修会は合計19回開催され、参加人数は会員が985名、非会員が75名、合計数は1,060名であった。昨年度に比べ研修会回数は73%、参加者は69%に減少した。生理検査部門生体画像分野は県内4地区で超音波実技指導を行い、きめ細かな研修会形式を実行し好評であった。輸血・移植部門は基本を重視した実習形式の研修会を開催し、輸血過誤を防止するための取組として評価される。生理検査部門と輸血・移植分野では若手や初心者、認定技師取得希望者のための具体的な技術指導が行われ好評を得た。第4回臨床検査セミナーでは6人の分野長から講演してもらい、全分野を網羅的にスキルアップできる実践的内容で卒後研修を開催できた。

東北臨床検査技師会の東北地区研修会では感染制御部門と病理部門を本県研究部門が担当して開催した。また、形態検査部門一般検査分野では日本臨床衛生検査技師会主催の全国研修会を担当し、122名の参加者を迎え大成功を収めた。

平成23年3月11日に起こった東日本大震災のためこの日以降に予定していた研修会は中止になった。



1) 新潟県臨床検査技師会の研修会

研究分野	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
臨床化学	平成22年 12月4日	専門 20	33	6	<p>1) 測定系に影響を与える物質 和光純薬工業</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ペニシリン G がアルブミン測定試薬に与える影響</li> <li>2. ドプタミンが Trinder 試薬へ与える影響</li> <li>3. 薬剤投与による異常反応について</li> </ol> <p>2) 今更聞けないこんな事</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ヘパリン採血におけるアルブミン測定でフィブリノーゲン値だけ高値にでる理由 新潟大学医歯学総合病院診療支援部臨床検査室 柿崎隆紀</li> <li>2. CK-MB の値が総 CK 値より大きいことがあるのはなぜ 済生会新潟第二病院 藤原誠得</li> <li>3. 血糖採血にフッ化ソーダ入りの採血管を使用するのはなぜ 社団法人新潟県労働衛生医学協会臨床検査部 小野里実香</li> <li>4. 微量金属測定の際, 酸で処理した容器が用いられるのはなぜ 厚生連魚沼病院 坂西清</li> </ol> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院 (生物試料分析科学会甲信越支部新潟分科会共催)</p>
遺伝子	平成22年 11月27～ 28日	専門 30	25	5	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ミトコンドリア遺伝子, 凝固因子の遺伝的背景に迫る 九州大学病院検査部 浦田美秩代</li> <li>2) 炎症性 AA アミロイドーシスの成因から治療まで 自治医科大学臨床検査医学 山田俊幸</li> <li>3) microRNA ～新しいバイオマーカーの意義～ 九州大学医学研究院保健学部門検査技術科学分野 梅村創</li> <li>4) 凝固第 XII 因子46C/T 多型～遺伝子検査は意外と簡単！ 九州大学病院 検査部 浦田美秩代</li> <li>5) リアルタイム PCR 法によるアセトアルデヒド脱水素酵素 (ALDH 2) の SNP 解析 タカラバイオ (株) 岡澤一秀</li> </ol> <p>会場：新潟大学医学部 (東北臨床検査技師会合同)</p>

生理機能 検査部門	平成22年 6月26日	専門 20	66		初級者セミナー「私はこうしています」 1) 心電図 済生会三条病院 桑原喜久男 2) 脳波 新潟市民病院 渡辺二美 3) 腹部超音波検査 労働衛生医学協会岩室健康増進センター 金子玲子 4) 心臓超音波検査 新潟大学医歯学総合病院 小林清子 5) 血管超音波検査 厚生連新潟医療センター 斉藤修 会場：新潟大学医学部第4講義室
生体機能 (生理機能検 査部門)	平成22年 9月11日	専門 20	61	0	肺機能検査セミナー 1) 肺機能検査機器の保守・点検・校正 フクダ産業, チェスト メーカー各社の講師心電図 2) 肺機能検査の実際 長岡赤十字病院 丸山千恵子 3) 慢性閉塞性肺疾患について- 長岡赤十字病院 呼吸器内科部長 佐藤和弘 会場：長岡赤十字病院
	平成22年 12月4日	専門 20	84	1	脳波・筋電図セミナー 1) NCSの基礎と実際 日本光電工業(株) 脳神経BG 宮原隆彦 2) 脳波検査のコツ 西新潟中央病院臨床検査科 土屋邦子 3) 小児てんかん症候群と脳波所見 西新潟中央病院小児科 遠山潤 会場：新潟大学医歯学総合病院
生体画像 (生理機能検 査部門)	平成22年 8月8・ 28・29日	専門 20	70	0	超音波実技セミナー 1) 心臓超音波 基本断面の走査法, 装置の設定, 心機能計測法 など 2) 腹部超音波 基本断面の走査法, 装置の設定, など 会場：8月8日 県立新発田病院 8月28日 立川綜合病院 8月29日 県立中央病院・新潟大学医歯学総合病院
	平成23年 1月15日	専門 20	31	0	超音波検査士対策セミナー 特訓・超音波の基礎 '11 東芝メディカルシステムズ 田口孝典 会場：プラーカ健康増進センター

細胞	平成22年 10月2日	専門 20	30	15	子宮頸部病変の病理組織 －上皮内病変のリスク評価および子宮頸癌の組織型分類－ 癌研究会癌研究所病理部 古田玲子 助言者：県立がんセンター新潟病院病理部 本間慶一 済生会新潟第二病院病理科 石原法子 会場：県立がんセンター新潟病院（細胞検査士会合同）
病理	平成23年 2月26日	専門 20	20	2	1) 病理検査分野への今後の動き 新潟大学第二病理学教室 大谷内健二 2) 3Dバーチャルスライドと最新技術の紹介 クラーロ（株） 3) 光触媒を用いた室内作業環境改善の提案 盛和工業（株） 4) HER2 検査－胃癌への導入に向けて ロッシュダイアグノスティクス（株） 会場：新潟大学医歯学総合病院
一般検査	平成22年 10月24日	専門 20	49	0	1) 大腸がんスクリーニング検査の新しい試み アルフレッサファーマ（株） 浜町正行 2) 試験紙法による蛋白/クレアチニン（P/C）測定について アークレイマーケティング（株） 本間雅史 3) 尿中蛋白測定試薬（ピロガロールレッド法）の改良 和光純薬工業（株） 遠藤美香 4) 小児科からみた尿検査の役割と必要性 長岡赤十字病院小児科副部長 磯部賢論 会場：新潟大学医学部
血液	平成22年 10月16日	専門 20	34	5	1) 全自動血液学検査装置 ADVIA 2120 i の特徴 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス（株） 赤塚健一 2) 東北臨床検査技師会血液検査部門研修会報告 県立吉田病院 水野祐子 3) 血液疾患における血液データのみかた 長岡中央総合病院 内科 岸賢治 会場：長岡中央総合病院
微生物	平成22年 6月26日	専門 20	40	0	1) 2010年 CLSI の変更点と留意点について シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス（株） 池延貴史 2) 感染症治療に貢献できる薬剤感受性検査について 関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部・感染症管理部 中村竜也 会場：駅南貸会議室 KENTO

微生物	平成22年 9月11日	専門 20	41	5	1) LAMP法の応用 栄研化学(株) 山崎久志 2) 臨床微生物学的な思考法のすすめ 岐阜大学大学院医学系研究科 病原制御学分野 大楠清文 会場: 朱鷺メッセ 中会議室
疫学・公衆衛生	平成23年 2月26日	専門 20	45	6	1) 結核の現状とQFTGの特性について BCG(株) 河尻克秀 2) 医療関連感染症と地方衛生研究所の関係(研究班活動から考える) 富山県衛生研究所細菌部 綿引正則 会場: 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」
輸血・移植	平成22年 6月5日	専門 20	109	16	1) 輸血検査の基礎知識・基本テクニック バイオ・ラッドラボラトリーズ(株) 小黒博之 2) 症例からみた輸血検査の進め方 富山大学付属病院 輸血・細胞治療部 道野淳子 会場: 新潟大学医学部第3講義室
	平成22年 7月31～ 8月1日	専門 30	65	0	輸血検査実技講習会(試験管法による輸血検査実習) 1) 実習1 ・超初級コース: 血液型, 不規則抗体スクリーニング, クロスマッチ, 凝集の見方, 試験管の振り方等 ・初級コース: 超初級の内容に, 不規則抗体同定検査 ・中級, 上級コース: 血液型, 不規則抗体検査, 抗体解離試験, クロスマッチを実施し総合的に輸血検査の理解 2) 実習2 ABO亜型検査, 自己抗体吸着法, 酸解離法 3) ABO亜型検査の進め方と血液製剤の選択 オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス(株) 古杉光明 4) 自己抗体保有時の輸血検査 オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス(株) 古杉光明 会場: 北里大学保健衛生専門学院
	平成22年 11月28日	専門 20	59	2	輸血検査における問題点とその解決方法を習得しよう!! ～ Case Study Training ～ 1) ワークショップ 症例検討 2) 症例検討・総括・講義 会場: 新潟大学医学部第5講義室

輸血・移植	平成23年 1月15日	専門 20	92	11	<p>1) 指導者育成講座参加報告および講習会のための輸血検査 手技マニュアルの解説 新潟大学医歯学総合病院輸血部 上村正巳</p> <p>2) リトレーニング輸血検査！～異常反応に対する考え方～ 福島県立医科大学附属病院輸血・移植免疫部 安田広康</p> <p>3) 輸血検査・報告・輸血対応を考える 旭川医科大学病院臨床検査・輸血部 友田豊</p> <p>会場：県立がんセンター新潟病院 講堂</p>
管理・運営	平成23年 2月5日	専門 20	31	1	<p>～管理・運営の「基本」を考える～</p> <p>1) 微生物検査における品質管理～ISO15189における管理とは～ 下越総合健康開発センター 佐藤孝子</p> <p>2) DPC 導入による検査室運営の変化とその現状 新潟大学医歯学総合病院診療支援部長 中村明</p> <p>3) 病院を管理するとは～ある民間病院技師の経験から～ 立川総合病院事務長 吉原正弘</p> <p>会場：新潟大学医学部医学科 第5講義室</p>

## 2) 東北臨床検査技師会の研修会

研究部門	開催日	参加人数	研修会内容
病理	平成22年 6月26～ 27日	111	<p>協力・共有・共感－乳腺病理のこれから－</p> <p>1) 分子標的薬と病理診断 新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野教授 味岡洋一</p> <p>2) 乳腺病理のこれから ①症例検討Ⅰ 「乳腺病変における針生検材料の取り扱いについて」 ②アンケート集計結果（乳腺病変について） ③症例検討Ⅱ 「乳腺穿刺吸引細胞診における鑑別困難症例の本質に迫る」 助言者 新潟県立がんセンター新潟病院臨床検査部長 本間慶一 済生会新潟第二病院検査部長 石原法子</p> <p>3) Papanicolaou 染色の原理と実際 (株) サクラファイナテックジャパン 渡辺明朗</p> <p>4) アンケート集計結果 新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子細胞病理学分野 大谷内健二</p> <p>5) マクロファージの病理学 新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子細胞病理学分野教授 内藤眞</p> <p>会場：新潟市割烹の宿 湖畔</p>

<p>感染制御</p>	<p>平成22年 12月18～ 19日</p>	<p>73</p>	<p>院内感染対策における臨床検査技師の役割</p> <p>1) 院内での他職種との連携</p> <p>1. 看護師の立場から 新潟市民病院 感染制御室 大崎角栄</p> <p>2. 薬剤師の立場から 下越病院薬剤課 三星知</p> <p>3. 医師の立場から 長岡赤十字病院感染症科 西堀武明</p> <p>4. ICMT の立場から 山形大学医学部附属病院検査部 太田玲子</p> <p>2) 職種間の協力体制をどのように図るか－ ICT ラウンドのポイント はコミュニケーション 獨協医科大学病院医療安全管理部・感染防止対策課 奥住捷子</p> <p>3) 秋田県における地域連携の試み－地域内感染情報モニタリング ネットワーク (Akita-ReNICS) 秋田大学医学部附属病院中央検査部 小林則子</p> <p>4) 地域における耐性菌ネットワークからわかったこと 八戸市民病院臨床検査科 堀内弘子</p> <p>5) 臨床検査センターとしてできる院内感染対策 (株) ミロクメディカルラボラトリー 柳沢英二</p> <p>6) 新型インフルエンザ流行時のネットワーク (行政の立場から) 新潟市保健所保健管理課健康危機管理室 山崎哲</p> <p>7) 院内感染対策における地域連携の重要性 帝京大学医学部附属病院中央検査部 川上小夜子</p> <p>会場：新潟大学医学部 第5講義室</p>
-------------	---------------------------------	-----------	---

### 3) 日本臨床衛生検査技師会の研修会

研究部門	開催日	参加人数	研修会内容
形態検査研究部門 一般検査分野	平成22年 7月17～ 18日	122	<p>一般検査から疾患を考える術を習得する～トキメキセミナーイン新潟～ 膨らまそう！ 一般検査から見える疾患</p> <p>1) 腎臓病と尿解析（尿赤血球・尿蛋白泳動・尿免疫細胞解析が示す腎病態） 新潟大学医歯学総合病院第二内科講師 坂爪実</p> <p>2) 検査データから病態情報へ～腎障害における検査室・技師のあり方を考える～ 金沢赤十字病院 油野友二</p> <p>3) 尿沈渣検査 実施前の心構えと予備知識 厚生連広島総合病院 山下美香</p> <p>4) やって楽しい、見て楽しい寄生虫検査（症例を中心とした検体の取り扱い方と検査の進め方） 大原総合病院 赤間孝紀</p> <p>5) 一般検査からはじめる髄液と体腔液 弘前市立病院 石山雅大</p> <p>6) 髄液と体腔液の塗抹標本作製法 諏訪中央病院 保科ひづる</p> <p>7) 鏡検実習「標本から病態を考える」 会場：新潟大学医学部医学科研究棟</p>

### 3. 精度管理事業

新潟県から新潟県医師会への委託事業である本事業は、平成22年度で31回目を数えた。技師会としても積極的に当事業に協力し、集計、解析を含めた実務の中心的役割を果たすとともに、臨床検査の精度向上に努めた。

本事業を担当する精度管理委員会は昨年度と同じく、学術及び、関係分野の臨床化学検査、微生物検査さらに、血液検査（血球計数）実施のため血液検査分野から選出された若干名で構成された。委員会は全体会議と臨床化学担当の分科会を含め計7回開催し、実施計画及び配送準備、データ集計、解析を実施した。

本年度の実施項目は微生物検査に技師会が担当する一般菌の1菌種について同定・感受性を実施し、新潟県保健環境科学研究所が担当する2菌種の同定を合わせて実施した。さらに本年度は日臨技精度保証施設認証制度を踏まえ血球計数検査を加えた。臨床化学は昨年同様27項目であった。臨床化学における、評価対象項目は昨年度に加えCaを評価した。調査試料は今年度低濃度域に自家製人プール血清を用い、高濃度域には昨年同様市販管理試料を用いた。人プール血清では概ね反応性の問題は回避できたが、高濃度域は管理試料であるため、反応性の問題は避けて通れず、本年度もHDLコレステロール、LDLコレステロール、CKはメーカー参考値を用いて評価した。なお、ドライケミストリー法についても評価を行った。委員会では検討会で質問があった事項や反応性の問題などについて、検討を加え検討会で報告を行い、調査のみではなく検査情報を提供している。

集計作業の迅速化、誤登録防止を目的に臨床化学のみではなく、微生物調査についても調査結果報告用ファイルをWebよりダウンロードする方法を実施した。施設の事情に合わせて用紙での報告も受付けたが、参加総施設数157施設のうち、Web利用152施設、用紙報告5施設であった。

精度管理調査事業の内容（実施要項）は以下のとおりである。

### 1) 臨床化学

測定日：平成22年11月1日（月）より施設に配布し，到着次第速やかに実施。

測定項目：Glu, TG, TC, HDL-C, LDL-C, Cre, UA,  $\gamma$ -GTP, AST, ALT, ALP, LD, HbA1c, CK, AMY, Na, K, Cl, 尿素窒素, ChE, Caの21項目。

調査のみとして無機リン，総蛋白，総ビリルビン，Alb, Fe, CRP, の6項目。

サンプル：以下の4種類

（臨床化学用）

人プール血清サンプル1，人凍結管理試料2

（HbA1c用）

MAP血サンプルA，人生赤血球サンプルB

（ドライケミストリー用）

人プール血清 DRY I, II

報告締め切り：平成22年11月9日（火）必着。

### 2) 微生物検査

検査日：平成22年11月1日（月）より施設に配布し，到着次第速やかに実施。

検査項目：試料中の病原菌の同定（血清型別実施可能な施設は必要に応じて実施）

感受性検査

サンプル：同定検査A, B, Cの3種類。

感受性検査Cの1種類。

報告締め切り：平成22年11月15日（月）必着。

### 3) 血液検査

検査日：平成22年11月1日（月）より施設に配布し，到着次第速やかに実施。

検査項目：CBC5項目（ヘモグロビン，白血球数，血小板数，赤血球数，ヘマトクリット）

サンプル：市販管理血球Cの1種類

報告締め切り：平成22年11月9日（火）必着。

集計概略は総参加施設数157施設，臨床化学施設129施設（内HbA1cは116施設），微生物検査同定76施設，感受性検査57施設，血液検査138施設であった。

臨床化学検査については，データ集計後12月22日（水）に施設別報告書を各施設に送付した。本年度も評価対象項目のすべてのサンプルにおいて評価を行ない，ドライケミストリー法も独自の評価基準で評価したが，使用施設数が5未満の測定方法については評価対象外とし，「A」は許容限界内，「B」は許容限界の2倍以内，「C」は許容限界の2倍超とした。

今年度も精度管理の意識向上を目的に施設名を公表する事とした。最終集計結果については新潟県臨床精度管理協議会において検討し昨年同様臨床検査精度管理調査検討会（報告会）で報告予定であったが，東北関東大震災発生のため開催が見合された。参加施設には県知事名の参加証が交付された。

平成19年度より，日臨技データ標準化事業が始まり，本年度も基幹施設（新潟大学医歯学総合病院，県立がんセンター新潟病院，厚生連刈羽郡総合病院，新潟県労働衛生医学協会）での活動が順調に進行した。さらに，今年度は日臨技精度保証施設認証制度が始まり，認証委員会を立ち上げた。委員会は各基幹施設の検査値標準化担当者，標準化委員会委員で構成された。申請施設は基幹施設をはじめ，一般施設（17施設）が申請をおこない，うち一般施設16施設と基幹施設4施設の計20施設が認証された。



#### 4. 生涯教育

日臨技情報総合システムを用いた生涯教育の行事・参加者登録業務を各検査研究部門担当者にも手続きが行えるようにマニュアル等を整備すると共に、生涯教育担当者が各検査研究部門の登録作業をサポートすることにより、生涯教育研修制度業務が円滑に行われた。また、ボランティア活動や臨床検査の普及のための啓蒙活動等が活発に行われる中で、生涯教育行事登録を行い活動を支援した。

#### 【広報部】

新臨技会誌、新臨技ニュース、ホームページの運営を通して全会員にリアルタイムに情報の提供が出来るよう心がけてきた。本年は編集委員およびHP委員の努力と会員の協力により、会誌表紙のデザインおよびシンボルマークが決定した。同時にHPもリニューアルし、今後会員には情報発信の手段として大きく貢献できるものと期待している。ことに、日本臨床検査技師会の新体制により今後は日臨技への集約化が進むと考えられる。新潟県技師会としては、理事及び支部間の連携、会員相互の連携、学術学会・研修会の周知等を尚一層強化していかなければならない。新臨技会誌、新臨技ニュース、ホームページはその大きな役割を担っており、広報委員一同は、会誌やHPの充実に熱意を持って取り組んで来た。慌しく、忙しい中でも担当者一人一人が責任感をもって会誌の発刊、HPの充実に努力してきた。以下に本年度の活動を報告する。

##### (1) 新臨技会誌

講義の内容は部門長を通してすべての分野から投稿していただくように広報活動にも力をいれてきた。〔研修会報告〕は参加会員の協力により引き続き掲載し、情報提供や新人会員の研鑽の頁とした。親睦広報に関しては〔ペンリレー〕〔新入会員紹介〕〔検査技師として～私の思い出～〕などの掲載で会員相互の親睦をはかり、だれもが参加できる企画にしてきた。新規には、公益活動の内容を紹介し、多くの会員に参加していただくため、〔公益活動報告〕を開始し掲載してきた。年4回 季刊発行（275号から278号まで）

<平成22年度会誌掲載内容>

第275号 平成22年4月1日

〔研究〕CHROMagar Candida の菌種鑑別能と Candida dubliniensis 検出法の検討……………菅原 芳秋  
〔受賞者のことば〕

東北医学検査学会功労賞を受賞して……………長谷川利春

〔公益活動参加報告〕

「ピンクリボンホリデー2009」に参加して……………鶴間 純  
新潟市健康福祉まつりに参加して……………斉藤 恵子  
エイズ撲滅啓発キャンペーンに参加して……………後藤亜友美  
エイズ撲滅啓発キャンペーンに参加して……………長壁 由美  
エイズ撲滅啓発キャンペーンに参加して……………笹川 亮  
エイズ撲滅啓発キャンペーンに参加して……………藤間 直美

〔研修会報告〕

平成21年度東北臨床検査技師会

生物化学分析部門・遺伝子検査分野研修会……………小南真由美  
形態検査部門血液分野研修会……………宮島 陽子  
形態検査部門病理検査研修会……………丸山由香利  
生物化学分析部門免疫血清分野及び移植検査部門輸血・移植分野共催研修会……………白石 京子  
感染制御部門疫学・公衆衛生分野研修会……………村山 晶子

〔認定技師制度紹介〕

細胞検査士への道……………池亀 央嗣

[ペンリレー] .....	山崎 聡子
[検査技師として～私の思い出～]	
検査技師として～私の思い出～.....	今井 貴子
検査技師として～私の思い出～.....	広野ゆう子
検査技師として～私の思い出～.....	藤原 誠得
[会 報] 平成21年度 (社) 新潟県臨床検査技師会第2回通常総会議案書	
平成21年度 (社) 新潟県臨床検査技師会第2回通常総会議事録	
アンケート集計	
平成22年度 (社) 新潟県臨床検査技師会第1回通常総会議案書	
第4回理事会議事録	
第5回理事会議事録	
第6回理事会議事録	
第7回理事会議事録	
新入会員紹介	
会員消息	
新臨技会日誌	
[案 内] 行事予定・学会研修会	
「会誌の表紙」および「シンボルマーク」デザイン募集要項	

第276号 平成22年7月1日

[あいさつ] 平成22年度にあたり.....	松田 和博
[講 義] 腸内フローラと生活習慣病.....	山本 邦夫
ISO15189からみた精度管理 .....	斉藤 憲祐
[公益活動参加報告]	
生活習慣病セミナーに参加して.....	上野 亮作
生活習慣病セミナーに参加して.....	鈴木 明
[認定技師制度紹介]	
二級臨床検査士資格認定試験(臨床化学)を受検して.....	長阪 佳美
[ペンリレー] .....	西江 良介
[検査技師として～私の思い出～]	
検査技師として～私の思い出～.....	石田 香織
検査技師として～私の思い出～.....	鳥田 朋香
検査技師として～私の思い出～.....	田中 利佳
[会 報] 平成22年度 (社) 新潟県臨床検査技師会第1回通常総会議事録	
平成21年度監査報告	
第1回理事会議事録	
5月常任理事会議事録	
会員消息	
新臨技会日誌	
[案 内] 第86回新潟県臨床検査学会案内(予告)・演題申込要領	
「会誌の表紙」および「シンボルマーク」デザイン募集要項	

第277号 平成22年10月1日

- 〔案 内〕 第86回新潟県臨床検査学会
- 〔講 義〕 やって楽しい、見て楽しい寄生虫検査……………赤間 孝紀  
臨床化学分野における実践的知識……………高口 功  
輸血検査の基礎知識・基本テクニック……………小黒 博之  
輸血検査の基礎知識……………笠井恵美子
- 〔研 究〕 第86回新潟県臨床検査学会一般演題抄録
- 〔受賞者のことば〕
- 篠川至賞を受賞して……………井上 彬  
篠川至賞を受賞して……………片桐 智美  
生涯教育新人賞を受賞して……………長澤 大輔
- 〔研修会参加報告〕
- 第4回臨床検査セミナー……………笠原 淳  
輸血・移植検査部門研修会……………山崎 聡子  
輸血・移植検査部門輸血検査実技講習会……………金田恵美子
- 〔ペンリレー〕……………佐藤 卓
- 〔検査技師として～私の思い出～〕
- 検査技師として～私の思い出～……………中村 美里  
検査技師として～私の思い出～……………名古屋絵里
- 〔会 報〕 第2回理事会議事録  
7月常任理事会議事録  
新入会員紹介  
会員消息  
新臨技会日誌
- 〔募 集〕 「会誌の表紙」および「シンボルマーク」デザイン募集要項  
「施設紹介」原稿募集

第278号 平成23年1月1日

- 〔あいさつ〕 新年ごあいさつ……………松田 和博
- 〔研 究〕 糞便由来大腸菌における病原因子関連遺伝子の保有状況……………宮嶋 洋子  
肺炎球菌による電撃性紫斑病の1例……………渡部 信栄ほか
- 〔資 料〕 災害時支援対策マニュアル (案)
- 〔受賞者のことば〕
- 第50回東北医学検査学会 奨励賞を受賞して……………片桐 智美  
第50回東北医学検査学会 学会学術賞を受賞して……………坂西 清
- 〔研修会報告〕
- 形態検査部門血液検査分野研修会……………北沢江利子
- 〔公益活動参加報告〕
- ピンクリボンホリデイ2010に参加して……………本間久美子  
24時間テレビチャリティ行事に参加して……………飯沼 裕美
- 〔認定技師制度紹介〕
- 日本糖尿病療養指導士について……………土田 浩司

超音波検査士認定試験を受験して……………	安達 洋子
[ペンリレー] ……………	青木 寿成
[検査技師として～私の思い出～]	
検査技師として～私の思い出～……………	栗原あゆみ
検査技師として～私の思い出～……………	高野 美菜
[会 報] 10月常任理事会議事録	
第3回理事会議事録	
第4回理事会議事録	
新入会員紹介	
会員消息	
新臨技会日誌	
[案 内] 平成22年度第2回通常総会 案内	
[募 集] 「施設紹介」原稿募集	
[行事予定]	

## (2) 新臨技ニュース

理事会議事録の掲載を中心に、組織活動、研修会案内、求人情報など速報性のある内容を順次掲載してきた。発行は理事会終了後の月1回発行しているが、委員の努力により読みやすいレイアウトになっている。求人情報など早めに情報が入手でき好評である。広く会員に読まれるよう工夫してきた。

## (3) ホームページ

リニューアルしたHPは案内・各支部活動・研究班活動の内容がリアルタイムに閲覧でき、会員からも好評を得ている。とくに事務局との連絡を密にして、県内の会員に情報提供できるよう努めてきた。

年間を通じた学術研究会日程・支部日程を掲載し様々な催事が共有できるよう速報性を持たせている。また日臨技や各種職能団体とリンクさせることでより拡大したHPを目指したい。また検査技師の仕事や検査内容も盛り込んだ「検査Q&A」のようなものを作成し、広く一般からもアクセスしてもらえるよう公共性を構築していきたい。

## 【支部研究会等】

### 上越支部

#### I：学術活動

##### 1) 秋季研修会：第95回上越支部研修会

平成22年9月19日（日） 市民プラザ 参加人数39名

#### 市民公開講座

「今、話題の感染症（HPV、AIDS）について」

～正しい知識を身につけて親子で考えてみよう～

##### ① 「HPV ワクチンと子宮頸がんワクチン」

～ワクチン接種を無料とした魚沼市の取り組み～

新潟厚生連 魚沼病院 坂西 清 技師

##### ② 「HPV 検査とその将来性」

積水メディカル（株）

##### ③ 情報提供 「AIDS の現状」

上越地域振興局健康福祉課（上越保健所） 保健師

## 技術講座

「日当直で必要な感染症検査の基礎知識」

アボット・ジャパン (株)

今年度は、地域貢献活動の一環として支部秋季研修会を一般公開講演とした。テーマを、話題の感染症(HPV・AIDS)として中学生とその親を中心として広報を行い、参加者を募った。

また、妙高市および上越市の小中学校 PTA に後援を依頼し快諾いただき周辺中学校へお知らせを送付した。

### 2) 春季研修会：第96回上越支部研修会

平成23年3月6日(日) 高陽荘

特別講演：「睡眠と健康」

上越教育大学 保健管理センター教授 増井 晃 先生

教育講演：「これからの検査室に必要な精度保障」

～ISO が求めるもの～

シスメックス (株) 学術情報部

認証サポートセンター 身野 健二郎 先生

### 3) 平成22年度上越支部通常総会

日時 平成23年3月6日(日) 16:20～ 高陽荘

## II：研究班活動

### 1) 検体検査研究班 (臨床化学部門・微生物部門)

(平成22年度班長：片野 幸子 県立中央病院)

平成22年9月15日(水) 県立中央病院講堂にて、シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株) 川崎芳正先生を講師に招いて、「甲状腺のデータの読み方、甲状腺/腫瘍マーカー異常値の出るメカニズム」という研修会を行った。参加人数は26名であった。

### 2) 形態検査研究班(血液・血清部門 病理部門 一般検査部門)

(平成22年度班長：近藤 正 上越総合病院)

平成23年3月6日(日) 高陽荘にてシスメックス(株)学術情報部認証サポートセンター身野健二郎先生を講師に招いて、「これからの検査室に必要な精度保障～ISO が求めるもの～」の講演を行いました。

### 3) 生理検査研究班(生理検査部門)

(平成22年度班長：佐藤 まゆみ 新潟労災病院)

平成22年11月25日(木) 新潟労災病院 栄養指導室にて当院内科・安泰善医師に「生活習慣病とダイエット」の講演をして頂いた。

参加人数は29名でした。

## III：地域保健活動

### 1) 上越糖尿病内分泌研究会

第40回 平成22年6月25日 やすね

### 2) 上越循環器談話会

第32回 平成22年11月5日 デュオ・セレッソ

### 3) 上越医療関連感染研究会

第2回 平成22年6月30日 やすね

### 4) 上越地域家庭医療研究会

第4回 平成22年7月16日 上越医師会館

第5回 平成23年2月4日 上越市民プラザ

5) 妙高高原地区三校合同講演会

平成22年8月21日(土)は〜とぴあ中郷

「ひろがれ!べんとうの日」

〜子ども達の成長を食から考える。食事なのか?食餌なのか?〜

西日本新聞社 編集企画委員 佐藤 弘

波佐見町立南小学校 教諭 福田 泰三

IV: 組織活動

1) 支部レクリエーション

日時 平成22年12月5日(日)10:00~

会場 市民プラザ上越

内容 親子米粉料理教室

講師 佐々木亜子 JA えちご上越

参加者 会員+家族 22名

2) AIDS撲滅キャンペーン

日時 平成22年12月4日(土)14:00~

会場 ジャスコ・アコーレ上越店

内容 チラシ・あぶらとり紙・キャンディの配布による啓蒙活動

V: 支部役員会

2010年(平成22年)

4月15日(木)・定例役員会

5月20日(木)・定例役員会

6月17日(木)・定例役員会

7月22日(木)・定例役員会

8月26日(木)・定例役員会

9月16日(木)・定例役員会

10月21日(木)・定例役員会

11月18日(木)・定例役員会

12月14日(火)・定例役員会

2011年(平成23年)

1月20日(木)・定例役員会

2月17日(木)・定例役員会

3月6日(日)・定例役員会(研修会・総会終了後)

VI: 平成23~24年度 支部役員について

支部長 内山 則明 (新潟労災病院)

役員 藤田 陽介 (糸魚川総合病院)

役員 山川 栄一 (上越総合病院)

役員 吉浦 晶也 (けいなん総合病院)

役員 齋藤 芳弘 (県立中央病院)

役員 小山 聖子 (県立中央病院)

役員 岡本 真紀 (上越地域健康管理センター)

役員 片桐 由美 (上越地域健康管理センター)

役員 岩間 裕子 (さいがた病院)

役員 西山 守 (県立柿崎病院)

#### 中越支部

- 1) 中越支部講演会 [生涯教育 基礎20 参加者60名]  
平成22年3月20日(土) 14:00~15:30 (株) バイタルネット東長岡支店3F 会議室  
講演会:「香りと健康~職場, 日常での香りの活用法~」  
講師: 健康管理士一般指導員・JAA認定アロマコーディネーター 山田 千恵 先生
- 2) 平成22年度中越支部通常総会 [生涯教育 基礎30 参加30名]  
平成22年3月20日(土) 15:45~16:30 (株) バイタルネット東長岡支店3F 会議室  
議長 北沢 江利子技師(長岡中央総合病院)  
議事 ①平成21年度事業・決算・監査報告  
②平成22年度事業計画・予算案提案
- 3) パパの健康チェック [生涯教育 基礎10 参加ボランティア技師10名]  
平成22年6月22日(土) 10:00~15:00 アピタ長岡千秋  
主催: ヘルシープラン21実行委員会・長岡市福祉保健部健康課  
会場来場者に血糖及びCO測定…各300名
- 4) 中越支部フォーラム [生涯教育 基礎20 参加61名]  
平成22年7月3日(土) 14:00~16:30 立川メディカルセンター多目的施設きぼう 講堂3F  
メインテーマ “臨床検査を取り巻く環境”  
講演Ⅰ 『HPVと子宮頸ガンについて』  
講師 厚生連長岡中央総合病院病理部 遺伝子検査室 長谷川 秀浩 先生  
講演Ⅱ 『臨床検査技師の展望』  
講師 北里大学保健衛生専門学院 木村 明 先生
- 5) ふれあい研修会 [生涯教育 1日目 基礎20 参加者40名]  
[ 2日目 基礎20 参加者35名]  
平成22年9月4日(土)~5日(日) 14:00~翌日12:00 北里大学保健衛生専門学院  
テーマ「卒後教育」  
1日目: 講義 : 統計学実習  
講師 : 北里大学保健衛生専門学院 小林 浩二 先生  
2日目: 講義Ⅰ: 「職場内コミュニケーションの向上と個人の成長」  
講師 : オーツ・ダイアグノスティックス株式会社 椎葉 良洋 先生  
講義Ⅱ: 「これからの臨床検査技師像-アメリカ・アジアで学んだ経験-」  
講師 : 日本臨床衛生検査技師会 理事 田中 久晴 先生
- 6) 糖尿病を知るつどい [生涯教育 基礎10 参加ボランティア技師7名]  
平成22年10月2日(土) 13:00~16:30 長岡リリックホールシアター  
主催: 長岡市医師会  
協賛: 長岡市, 薬剤師会, 栄養士会, 看護協会, 臨床検査技師会, 他  
内容: 来場者 300名  
一般参加者の血糖値を測定…130名
- 7) “すこやかともしびまつり 2010” [生涯教育 基礎10 参加ボランティア技師21名]  
平成22年10月9日(土)・10日(日) ハイブ長岡 一般市民来場者 約10,000人

主催：長岡市

血糖測定 400名 ストレス度測定 400名 顕微鏡見学 120名

8) 三条市市民公開講座 [生涯教育 基礎10 参加ボランティア技師11名]

平成22年10月16日(土) 13:00~16:30 三条市総合福祉センター

主催：三条市市民公開講座実行委員会

来場者 180名

来場者に簡易血糖測定・動脈硬化度測定 血糖測定 110名 PWV 60名

9) エイズ予防啓発キャンペーン [生涯教育 基礎10 参加ボランティア技師10名]

平成22年12月4日(土) 13:00~14:30 リバーサイド千秋長岡アピタ店

主催：日本臨床検査技師会

内容：日臨技エイズ予防啓発キャンペーンチラシ300枚

《平成22年度会議録》

第1回理事会 平成22年4月27日(火) 18:30~ 立川総合病院 4F会議室

議題：中越支部フォーラム・長岡ヘルシープラン・日臨技検討事項(地区編成)について 他

第2回理事会 平成22年6月3日(木) 18:30~ 立川総合病院 4F会議室

議題：中越支部フォーラム日程, 内容, 担当, 役割分担について

ふれあい研修会・支部研究会について 他

第3回理事会 平成22年7月22日(木) 18:30~ 立川総合病院 4F会議室

議題：ふれあい研修会・支部研究会について

すこやかとしびまつり2010・糖尿病をしるつどい・三条市市民公開講座について

第4回理事会 平成22年8月26日(木) 18:30~ 立川総合病院 4F会議室

議題：ふれあい研修会・支部研究会について

すこやかとしびまつり2010・糖尿病をしるつどい・三条市市民公開講座について

HPV 予防ワクチン署名について

第5回理事会 平成22年10月1日(金) 18:30~ 立川総合病院 4F会議室

議題：ふれあい研修会・支部研究会について

すこやかとしびまつり2010・糖尿病をしるつどい・三条市市民公開講座について

世界エイズデー(予防啓発ビラ配り)について

第6回理事会 平成22年11月18日(木) 18:30~ 立川総合病院 4F会議室

議題：すこやかとしびまつり2010・糖尿病をしるつどい・三条市市民公開講座の活動総括

世界エイズデー(予防啓蒙ビラ配り)について

平成22年中越支部講演会及び23年度中越支部通常総会について

篠川至賞 選出について

(社)新潟県臨床検査技師会災害時支援対策マニュアル(案)について

中越支部 学術支援体制について

第7回理事会 平成23年1月8日(土) 14:00~ 立川総合病院 4F会議室

議題：平成22年度支部講演会・23年度支部総会について

篠川至賞 選出について

(社)新潟県臨床検査技師会災害時支援対策マニュアル(案)について

日臨技支部編成について

次期役員選出について

第8回理事会 平成23年2月24日(木) 18:30~ 立川総合病院 4F会議室



議題：平成22年度支部講演会・23年度支部総会の日程，内容，担当，役割分担について  
総会議案書作成  
中越支部 学術支援体制について

## 下越支部

### <研修会等>

#### (1) 第1回支部研修会

日時：平成22年7月10日（土）14：00～17：00

場所：下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容：「採血関連デバイスの御紹介とその適正使用について」

「採血について」

参加者：50名（会員40名，非会員10名） 生涯教育認定 基礎20点

#### (2) 第86回新潟県臨床検査学会（下越支部担当）

日時：平成22年11月13日（土）10：00～16：00

場所：新発田市生涯学習センター

内容：心電図セミナー，講演，演題発表など

参加者：317名（会員252名，非会員62名，学生3名）

生涯教育認定 専門20点

#### (3) エイズ撲滅啓発キャンペーン

日時：平成21年12月4日（土）1：30～2：30

場所：イオン新発田ショッピングセンター

内容：エイズ予防啓発チラシ等の配布

参加者：8名 生涯教育認定 基礎20点

#### (4) 第2回支部研修会 ※中止

日時：平成23年3月26日（土）14：00～17：00

場所：下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容：病院における感染対策について，手洗い講習

参加者： 名 生涯教育認定 専門20点

### <下越支部理事会>

今年度は，県学会・支部研修会打合せ等で7回開催した。

第1回：5月14日

第2回：6月17日

第3回：7月10日

第4回：9月16日

第5回：10月28日

第6回：1月13日

第7回：3月4日

### <ホームページ>

今年度は研修会予告・参加報告，理事会議事録掲載などで更新した。

## 佐渡支部

### 1. 学術活動報告

## 【活動内容】

### 1) 研修会（専門－20）

日時 平成22年7月24日（土）午後2：00～4：00（受付午後1：30～）

会場 「ファミリーオ相川」

内容 講演 『HCV 検査と最近の話題』

講師 アボットジャパン株式会社 学術情報部 中島俊彦先生

### 2) 講演会（基礎－20）

日時 平成22年9月25日（土） 13：00～15：30

会場 佐渡総合病院 講堂

内容 講演 『統計的データ解析の基礎とその周辺』

講師 北里大学保健衛生専門学院 臨床検査技師養成科 小林 浩二 先生

### 3) 研修会（専門－20）

日時 平成22年12月4日（土）15：00～17：00（受付14：30～）

会場 Ryokan 浦島（佐渡市窪田978-3） TEL 0259-57-3751

内容 一般演題発表 15：00～15：50

#### ①「肥厚性幽門狭窄症」

佐渡総合病院 宮崎 勝吉 技師

#### ②「キャリブレーター間差によるPT-INRの変動について」

佐渡総合病院 吉田 和永 技師

#### ③「IVUS（GALAXY）の使用経験」

佐渡総合病院 関 元気 技師

#### ④「佐渡市大腸がん検診の動向と免疫便潜血反応陽性率の検討」

佐渡検診センター 内田万千代技師

### 4) 研修会（専門－20）

日時 平成23年2月2日（水）18：00～19：30（受付17：45）

会場 佐渡総合病院 講堂

内容 ①平成22年度佐渡島内コントロールサーベイ報告会 18：00～18：20

演者：新潟県労働衛生医学協会 佐渡検診センター 本間 正仁 技師

②講演「自動分析装置の基礎」18：30～19：30

講師：関東化学（株） 試薬事業部ライフサイエンス部診断試薬一課 大谷 洋介 先生

### 5) 支部総会（基礎－30）

日時 平成23年3月12日（土）12：30～16：00（受付12：00）

会場 佐渡島開発総合センター 2階

内容 佐渡支部総会

## 【関連団体主催研修会】

### 1) 佐渡医師会学術講演会（専門－10）

日時 平成22年11月4日（木）18：45～

会場 佐渡総合病院 講堂

内容 「アトピー性皮膚炎の最近の話題」

講師 新潟大学大学院歯学総合研究科 皮膚科学分野 教授 伊藤 雅章 先生

## 2. 生涯教育履修報告

平成22年7月24日 佐渡支部研修会（専門20点） 24名参加

- 平成22年 9月25日 佐渡支部研修会（基礎20点） 9名参加
- 平成22年12月 4日 佐渡支部講演会（専門20点） 25名参加
- 平成22年 2月 2日 佐渡支部研修会（専門20点） 22名参加
- 平成22年 3月12日 佐渡支部総会（基礎30点） 30名参加
- 平成23年 3月12日 佐渡支部研修会（専門20点） 中止
- 平成23年 3月12日 第2回通常総会（基礎30点） 中止

平成21年度は専門80点基礎30点、22年度は専門80点基礎50点ですべて参加していれば240点で1クール完全に終了となります。

### 3. 組織活動報告

- 1) 平成22年 7月24日（土） 研修会後懇親会（バーベキュー）「ファミリーオ相川」  
参加人数19名 宿泊10名
- 2) 平成22年12月 4日（土） 研修会後懇親会「Ryokan 浦島」  
参加人数19名（内非会員1名） 宿泊7名
- 3) 平成23年 3月12日（土） 県予算総会・佐渡支部総会后懇親会「ホテル『きらく』」 中止

### 4. 庶務活動報告

学術、組織等の活動の準備、各種案内文書の発送を行いました。

### 5. 会誌活動報告

年4回、3ヶ月に1回技師会誌が発行され、各施設への配布を行いました。

### 6. 広報委員活動報告

新臨技ホームページ内の佐渡支部ページを更新し、維持、管理した。

## 新潟支部

### 1. 学術及び組織活動

- 1) 平成22年度新潟支部研修会 63名参加  
平成22年 3月 6日（土） 新潟大学医歯学部第 4 講義室  
「POCT のデータ管理・通信の基礎」  
講師 ニプロ株式会社検査商品開発営業部課長 市川 裕之 先生  
株式会社日立システムアンドサービス医療システム部 永岡 宏朋 先生  
ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 IVD 事業本部マーケティング部門 奥山 宏昭 先生  
浅香 和之 先生
- 2) 生理検査研修会 35名参加  
平成22年 5月20日（木）新潟市民病院 4階講堂  
「乳腺疾患の画像検査－超音波検査を主体に MMG と MRI の比較－」  
講師 新潟市民病院 放射線科 塩谷 基 先生
- 3) 第118回新潟支部微生物研究会 35名参加  
平成22年 5月27日（木）新潟市民病院 大会議室201号室  
「試験管培地を用いた腸内細菌の同定」  
講師 栄研化学（株）営業統括部市場対策室学術二部三課 新保 博美 先生
- 4) 新潟市糖尿病対策推進会議発会式並びに記念講演会 7名参加  
平成22年 6月 5日（土）万代市民会館  
①「地域の糖尿病対策と医療連携」  
講師 上村医院 上村 伯人 先生

②「みんなで糖尿病を考えよう」

講師 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター 荒川 正昭 先生

5) 「ブルーサークル」を広めよう 21名参加

平成22年8月28・29日(土・日)新潟市万代シティ通り

6) 第1回新潟支部研修会 29名参加

平成22年9月18日(土)新潟大学医歯学総合病院 12階大会議室

①「意外と知らない!? 技師会のしくみ」

講師 新潟大学医歯学総合病院 高野 操 技師

②「臨床検査で使える身近な英会話」

講師 杏林大学付属病院病理部 小松 京子 先生

7) 第54回新潟支部血液研究会 17名参加

平成22年10月7日(木)新潟市民病院 4階講堂

「検体由来による血球計数装置の誤差要因」

講師 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス(株)

サービス・サポート部 技術管理グループ 学術サービス 秋葉 俊一 先生

8) 第11回新潟市健康福祉祭り 10名参加

平成22年10月24日(日)新潟市万代通り

9) 生理検査研修会 60名参加

平成22年11月5日(金)新潟市民病院 4階講堂

「症例で見る腹部エコー～CT MRI との比較～」

講師 新潟市民病院 放射線科 塩谷 基 先生

10) 第29回新潟糖尿病の集い 14名参加

平成22年11月14日(日)朱鷺メッセ マリンホール

11) 第119回新潟支部微生物研究会 22名参加

平成22年11月19日(金)新潟市民病院 大会議室201号室

「微生物検査における検体の採取と処理について」

講師 信楽園病院 検査科 田端 篤 技師

12) 第30回新潟支部一般検査研修会

新潟医療技術専門学校 2階第3実習室

1回目 平成22年11月21日(日) 20名参加

「血球, 上皮細胞と寄生虫卵などを中心に観察」

講師 日本歯科大学 真島満美子 技師

済生会新潟第二病院 西江 良介 技師

2回目 平成22年11月23日(火) 14名参加

「尿細管上皮, 円柱と寄生虫卵などを中心に観察」

講師 新潟南病院 伊藤 太地子 技師

下越病院 小林 ユミ子 技師

3回目 平成22年11月28日(日) 17名参加

「結晶成分, 異型細胞と寄生虫卵などを中心に観察」

講師 労働衛生医学協会 齋藤 清美 技師

日本歯科大学 真島 満美子 技師

- 13) 2010年エイズ撲滅キャンペーン 15名参加  
平成22年12月4日(土)新潟市万代通り
- 14) 第120回新潟支部微生物研究会 名参加  
平成23年3月12日(土)新潟大学医歯学総合病院 12階大会議室  
「微生物検査のあゆみと今後の課題」  
講師 新潟大学医歯学総合病院 尾崎 京子 技師

## 2. 総会及び幹事会

- 1) 支部定期総会  
平成22年3月6日(土) 新潟大学医学部第4講義室
- 2) 第1回支部幹事会  
平成22年3月24日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 3) 第2回支部幹事会  
平成22年4月21日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 4) 第3回支部幹事会  
平成22年5月19日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 5) 第4回支部幹事会  
平成22年6月16日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 6) 第5回支部幹事会  
平成22年7月21日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 7) 第6回支部幹事会  
平成22年9月8日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 8) 第7回支部幹事会  
平成22年10月20日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 9) 第8回支部幹事会  
平成22年11月17日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 10) 第9回支部幹事会  
平成22年12月15日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 11) 第10回支部幹事会  
平成23年1月19日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 12) 第11回支部幹事会  
平成23年2月16日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所

## 【主要行動報告】

1. 北里大学保健衛生専門学院入学式へ松田会長出席(4月7日)
2. 新潟医療技術専門学校入学式へ松田会長出席(4月8日)
3. 第1回理事会(4月10日)
4. 衛生検査所立入審査(新潟市)へ松田会長同行(4月14日)
5. 表彰委員会(4月28日)
6. 日臨技標準化事業検討委員会(東京)へ伊藤理事出席(5月15日)
7. 日臨技女性部会へ小田辺副会長出席(5月15日)
8. 学術部門会議・5月常任理事会(5月15日)
9. 日臨技第1回定期総会(東京)へ堀川事務局長出席(5月21日)

10. 篠川至賞選考委員会（5月22日）
11. 第4回臨床検査セミナー・第1回通常総会（5月30日）
12. 新潟はっぴー乳ライフ実行委員会へ松田会長出席（6月1日）
13. 日本細胞学会新潟支部研修会へ小田辺副会長出席（6月5日）
14. 新潟栄養・食生活学会 第1回役員会へ吉原副会長出席（6月9日）
15. 第3次マスタープラン検証委員会へ小田辺副会長出席（6月12日）
16. 第2回理事会（6月12日）
17. 細胞検査士会総会、研修会へ松田会長出席（6月19日）
18. 東臨技学術部門会議（岩手県）へ坂西理事、大谷内部門長、菅原部門長出席（6月25日）
19. 東臨技形態部門病理分野研修会へ松田会長出席（6月26日）
20. 新潟はっぴー乳ライフ実行委員会へ松田会長出席（7月3日）
21. 日臨技一般検査領域研修会へ松田会長出席（7月17日）
22. 第1回業務災害対策委員会・7月常任理事会（7月17日）
23. 新潟県精度管理協議会へ松田会長、伊藤理事出席（7月26日）
24. 新潟県・新潟市合同精度管理専門委員会へ松田会長出席（7月27日）
25. 全国会長・代議員会議（東京都）へ松田会長、堀川事務局長出席（8月8日）
26. 新潟県庁福祉保健部医務薬事課へ堀川事務局長事業報告書提出（8月9日）
27. 新潟県糖尿病対策推進協議会へ松田会長出席（8月20日）
28. 新潟県糖尿病検診研究会へ松田会長出席（8月20日）
29. 新潟はっぴー乳ライフ実行委員会へ小柳事務局次長出席（8月31日）
30. HPV 予防ワクチン街頭署名活動（千葉県）へ小田辺副会長参加（9月4～5日）
31. 第2回業務災害対策委員会・第3回理事会（9月11日）
32. がん征圧新潟県大会へ松田会長出席（9月17日）
33. 新潟県臨床検査センター協議会へ松田会長出席（9月18日）
34. 第1回東北地区代表者会議（八戸市）へ松田会長、渡辺副会長出席（10月8日）
35. ピンクリボンホリデー2010へ小柳理事ほか8名検査ブース出展（10月9日）
36. 第3回業務災害対策委員会・10月常任理事会（10月16日）
37. 衛生検査所立入検査（佐渡市）へ松田会長同行（10月22日）
38. 糖尿病検診研究会総会へ松田会長出席（11月9日）
39. 第86回新潟県臨床検査学会・第4回理事会（11月13日）
40. 東北地区事務局長会議（新潟市）へ堀川事務局長ほか理事5名出席（11月26日）
41. 新潟はっぴー乳ライフ実行委員会へ松田会長出席（11月27日）
42. 新潟循環器等検診部会へ松田会長出席（12月3日）
43. エイズ予防啓発キャンペーンを県内4市で実施（12月4日）
44. 12月常任理事会（12月11日）
45. 衛生検査所立入検査（長岡市）へ松田会長同行（12月15日）
46. 関連団体へ三役新年あいさつ（1月12日）
47. 第2回新潟県救急搬送・受入協議会へ鈴木理事出席（1月13日）
48. 第5回理事会（1月15日）
49. 新潟県・新潟市合同精度管理専門委員会へ松田会長出席（2月3日）
50. 日本臨床検査技師連盟連絡責任者会議（東京都）へ松田会長出席（2月4日）
51. 新潟県臨床検査精度管理協議会へ松田会長、伊藤理事出席（2月7日）

52. (公財)新潟県健康づくり財団評議会へ松田会長出席 (2月8日)
53. 2月常任理事会 (2月12日)
54. 東北地区代表者会議 (山形市) へ松田会長, 小田辺副会長出席 (2月25日)
55. 新潟県臨床検査センター協議会へ松田会長出席 (3月5日)
56. 新潟医療技術専門学校卒業式へ松田会長出席 (3月11日)
57. 北里大学保健衛生専門学院卒業式へ松田会長出席 (3月16日)
58. 平成22年度第2回通常総会, 第6回理事会 (3月19日)
59. 新潟大学医学部保健学科卒業式典へ堀川事務局長出席 (3月23日)
60. 新潟県健康づくり財団評議員会へ松田会長出席 (3月29日)

## 平成22年度収支決算報告

## 平成22年度収支決算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

## 収入の部

大科目	中科目	小科目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
会費収入			7,960,000	8,119,000	△ 159,000	
	正会員会費		6,600,000	6,809,000	△ 209,000	1,238名
	賛助会員会費		1,360,000	1,310,000	50,000	66社
事業収入			4,140,000	4,557,200	△ 417,200	
	参加費収入		850,000	1,603,200	△ 753,200	県学会, セミナー, 研究部門
	会誌広告収入		590,000	590,000	0	会誌14社
	助成金収入		2,700,000	2,364,000	336,000	日臨技, 県医師会
雑収入			905,000	1,078,342	△ 173,342	
	預金利息収入		5,000	33,116	△ 28,116	定期利息
	雑収入		900,000	1,045,226	△ 145,226	研究部門残金, 学会協賛金
当期収入合計	A		13,005,000	13,754,542	△ 749,542	
前期繰越収支差額			1,000,000	2,517,882	△ 1,517,882	
収入合計	B		14,005,000	16,272,424	△ 2,267,424	



支出の部

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	備考
事業費			8,540,000	7,393,668	1,146,332	
	学術研究費		3,990,000	3,597,581	392,419	
		学 会 費	1,000,000	711,929	288,071	第86回県学会
		学術部活動費	1,900,000	2,276,799	△ 376,799	検査研究部門助成金
		精度保障事業費	640,000	196,873	443,127	新潟県精度管理事業
		負 担 金	350,000	345,325	4,675	東北技師会負担金
		雑 費	100,000	66,655	33,345	源泉徴収税
	総会費		1,250,000	667,553	582,447	
		準 備 費	250,000	153,436	96,564	賞状、筒
		運 営 費	1,000,000	514,117	485,883	セミナー費用
	広報費		2,300,000	2,198,958	101,042	
		会誌発行費	2,000,000	2,022,540	△ 22,540	会誌発行4号
		広報編集費	300,000	176,418	123,582	編集委員会
	組織強化費		1,000,000	929,576	70,424	
		支部強化費	600,000	594,161	5,839	各支部助成金
		組織公報費	400,000	335,415	64,585	公益事業活動
管理費			4,900,000	4,381,887	518,113	
	事務費		2,390,000	2,058,898	331,102	
		備 品 費	200,000	117,355	82,645	スキャナー、パソコン
		消 耗 品 費	90,000	62,058	27,942	文房具等
		印 刷 費	300,000	277,592	22,408	封筒、コピー代
		通 信 費	500,000	509,959	△ 9,959	案内発送、プロバイダー
		交 通 費	400,000	283,970	116,030	日臨技、東北会議
		渉外対策費	300,000	180,564	119,436	関連団体、支部対策費
		報 酬 費	600,000	627,400	△ 27,400	事務職員報酬等
	会議費	旅 費	600,000	691,970	△ 91,970	理事会等旅費
	事務所費		1,730,000	1,491,444	238,556	
		維持管理費	1,600,000	1,405,152	194,848	賃貸料、電気代
		電 話 費	100,000	83,380	16,620	
		事務所雑費	30,000	2,912	27,088	事務所備品
	雑費		180,000	139,575	40,425	
		交 際 費	150,000	134,575	15,425	関連団体慶弔費
		雑 費	30,000	5,000	25,000	セミナーブラインド修理代
特定預金支出			300,000	1,023,374	△ 723,374	
	会館建設引当預金支出		0	23,374	△ 23,374	
	学会引当預金支出		300,000	1,000,000	△ 700,000	第56回東北学会積立
予備費			265,000	997,762	△ 732,762	注
	当期支出合計	C	14,005,000	13,796,691	208,309	
	当期収支差額	A - C	△ 1,000,000	△ 42,149	△ 957,851	
	次期繰越収支差額	B - C	0	2,475,733	△ 2,475,733	

注：予備費997,762円はホームページ作成費に拠出充当した額である。

# 総合財産目録

平成23年3月31日現在

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	1,060,965		
普通預金			
第四銀行臨港支店	1,100,476		
ゆうちょ銀行	314,292		
流動資産合計		2,475,733	
2. 固定資産			
会館建設引当預金			
第四銀行臨港支店(定期)	10,000,000		
北越銀行県庁支店(定期)	4,093,676		
ゆうちょ銀行(定額4口)	5,268,000		
篠川至賞引当預金			
ゆうちょ銀行(定額3口)	7,801,000		
共済基金			
ゆうちょ銀行(定額3口)	1,724,000		
学会引当預金			
ゆうちょ銀行(定額3口)	4,500,000		
固定資産合計		33,386,676	
資産合計			35,862,409
II. 負債の部			
1. 流動負債		0	
2. 固定負債		0	
負債合計			0
正味財産			35,862,409

## 1. 正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

科 目	金 額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額			
会館建設引当預金	23,374		
学会引当預金	1,000,000		
資産増加額合計		1,023,374	
2. 負債減少額		0	
増加額合計			1,023,374
II. 減少の部			
1. 資産減少額			
当期収支差額	42,149		
会館建設引当金預金 (岩手, 宮城, 福島県へ見舞金として充当)	6,000,000		
2. 負債増加額		0	
減少額合計			6,042,149
当期正味財産増加額			△ 5,018,775
前期繰越正味財産額			40,881,184
期末正味財産合計額			35,862,409

## 2. 貸借対照表 平成23年3月31日現在

科 目	金 額	
I, 資産の部		
1, 流動資産		
現金預金	2,475,733	
流動資産合計		2,475,733
2, 固定資産		
会館建設引当預金	19,361,676	
篠川至賞引当預金	7,801,000	
共済基金	1,724,000	
学会引当預金	4,500,000	
固定資産合計		33,386,676
資産合計		35,862,409
II, 負債の部		
1, 流動負債		0
2, 固定負債		0
負債合計		0
III, 正味財産の部		
正味財産		35,862,409
(うち当期正味財産増加額)		(△5,018,775)
負債及び正味財産合計		35,862,409

### 計算書類に対する注記

#### 1 重要な会計方針

- ① 資産の評価基準及び評価方法について
  - ・棚卸資産は、最終仕入原価法による原価法。
  - ・投資有価証券は、異動平均法による原価法。
- ② 固定資産の減価償却について
  - ・有形固定資産の減価償却は定率法により行う。
- ③ 引当金の計上基準について
  - ・貸倒引当金、賞与引当金は、法人税法の規定に基づく繰入限度相当額を計上する。
  - ・退職給与引当金は、役員及び職員の退職金支給に備え、退職金期末要支給額を計上する。
- ④ 資金の範囲について
  - ・資金の範囲には、現金預金、未収金、未収会費、仮払金、未払金、仮受金を含めている。
 なお、前期末及び当期末残高は下記4のとおりである。

- 2 基本財産は所有していない。
- 3 有形固定資産は所有していない。
- 4 未収金等及び未払金等は発生していない。
- 5 担保に供している資産並びに支払を保証している債務はない。
- 6 表示の金額は、円単位で表示している。

#### 第4号議案

### 一般社団法人への移行決議案

理事会等で検討を重ねた結果

1. 会員の資質向上に関する事業を主目的にしていること。
  2. 自主的な事業展開ができる。
  3. 今後も社会貢献事業は継続して、社会的な信用や認知度向上が図れる。
  4. 公益社団として公益事業費割合が法定の50%以上に達する見込みが無い。
  5. 収益事業を実施していないので、税制優遇のメリットが少ない。
- 等々の理由により、平成24年度（予定）から一般社団法人に移行したい。

#### 第5号議案

### 第63回日本医学検査学会開催立候補決議案

第63回日本医学検査学会（2014年開催）の開催担当県並びに開催地として、東北地区からご推薦をいただき正式に立候補届けを提出する。